

第3次『はんざん桃源郷の里』 まちづくり計画



飯野山から見た『はんざん桃源郷の里』

平成31年4月1日

飯山北地区コミュニティ推進協議会

はじめに

平成の大合併（平成 17 年）により、旧丸亀市・旧綾歌町・旧飯山町の 1 市 2 町が対等合併し、新「丸亀市」が誕生して、早や 14 年が経過しました。合併協議に基づき、設立された飯山北地区コミュニティ推進協議会も 13 年目を迎えています。

この間、平成 21 年 4 月に、コミュニティ活動の基本となる「はんざん桃源郷の里」まちづくり計画を作成しました。平成 26 年には、第 2 次まちづくり計画を作成し、5 年が経過した本年度は第 2 次まちづくり計画の見直し年となりました。

この 5 年間、コミュニティでは、「人と人とのふれあいを大切に、子どもから高齢者まで誰もがいきいきと楽しく暮らせるまち」づくりを目標に各種事業に取り組んでまいりました。

しかしながら、この 5 年間の社会情勢の変化は目まぐるしく、未曾有の被害をもたらした熊本地震、九州北部集中豪雨、西日本豪雨、地球温暖化による異常気象や、人口減少、少子高齢化、IT・AI の急速な進化により、私達の生活様式や価値観も随分と変わり、これまでとは違った視点での見直しが必要となっております。

この度の「はんざん桃源郷の里」まちづくり計画の見直しにあたっては、これらの社会情勢・価値観の変化や第二次丸亀市総合計画の基本理念である「豊かで暮らしやすいまち丸亀」を踏まえ、この地域のみなさんが「お互いが助け合いながら、ここに住んでよかった」と実感できるまちづくり計画に心掛けて作成いたしました。

最後に、新たな元号が始まる年に地域のみなさんには、地域の活動基盤でありますコミュニティ活動にこれまで以上にご理解・ご協力をいただき、共にまちづくりに参加されますようお願い申し上げます。

平成 31 年 4 月

飯山北地区コミュニティ推進協議会
会長 三好 守

目 次

第1章 『はんざん桃源郷の里』の概況

- (1) 位置・地勢・気候
- (2) 沿革
- (3) 人口・世帯数などの推移
- (4) 産業
- (5) 公共施設
- (6) コミュニティ構成団体
- (7) 文化財
- (8) 自然景観
- (9) 年中行事

第2章 まちづくりの基本構想

- (1) 将来像
- (2) シンボルテーマ
- (3) まちづくりの基本的な考え方
- (4) まちづくりの目標

第3章 『はんざん桃源郷の里』まちづくり計画

- (1) 現状と課題
- (2) まちづくりの方向性
- (3) 計画期間
- (4) 計画の見直し
- (5) 実現するための事業

第1章 『はんざん桃源郷の里』の概況

(1) 位置・地勢・気候

本地域は、丸亀市の南東部に位置し、1年を通じて気候温暖でこれまで大きな災害は少ない。坂出市との境界には、高松自動車道の一部が通過しており、西に土器川、中央に大東川が流れ、北に飯野山、北東・東南部は小高い山が連なっている。



楠見地区から見た飯山北地区



特産品 桃

(2) 沿 革

明治 23 年の町村制施行により、東坂元村・川原村・真時村・西坂元村が合併して坂本村に、上法軍寺村・下法軍寺村・東小川村が合併して法勲寺村となった。

昭和 31 年に 2 ケ村が合併し、旧飯山町となった。以来、ため池かんがいによる米作を主とした農業地域として発展した。高度経済成長期に入ると、番の洲臨海工業地帯の発展に伴い民間主導型の宅地開発が町内各所で進み、ベッドタウンとして急発展を遂げた。

昭和 55 年頃の造船不況により人口増加は鈍化した。瀬戸大橋架橋等により交通の利便性を背景に田園都市として発展してきた。バブル崩壊後、地方経済の低迷が続く中、平成の大合併が進められ、平成 17 年 3 月に近隣 1 市 2 町が対等合併し、新丸亀市となった。合併協議に基づき、小学校区を単位として、旧坂本村の地域は飯山北地区コミュニティ推進協議会として平成 18 年 3 月に設立された。

(3) 人口・世帯数などの推移

人口・世帯数

項目 年・月	人 口	男	女	世帯数
平成 27 年 1 月 1 日	10,949	5,356	5,593	4,161
平成 28 年 1 月 1 日	10,821	5,301	5,520	4,173
平成 29 年 1 月 1 日	10,796	5,271	5,525	4,218
平成 30 年 1 月 1 日	10,840	5,295	5,545	4,265
平成 31 年 1 月 1 日	10,751	5,242	5,509	4,306

年齢別人口（H31・1・1 現在）

年齢別	男	女	合計	年齢別	男	女	合計
0～10	543	525	1,068	51～60	531	585	1,116
11～20	575	535	1,110	61～70	768	817	1,585
21～30	501	516	1,017	71～80	579	655	1,234
31～40	657	618	1,275	81～90	249	386	635
41～50	806	787	1,593	91 以上	33	85	118

(4) 産業

本地域は、もともと純農村として米・麦作とともに桃の栽培が盛んで、現在では県内最大の桃の生産量を誇っており、販路も全国的になってきている。また商業では小売店舗から大型スーパーに変わり、国道 438 号線片側開通に伴い多くの店舗が進出している。また、製造業ではストックキング製造工場や印刷工場などがある。今後、国道 438 号線が全面開通すると産業構造の変化が訪れる可能性がある。

(5) 公共施設

地域内には、飯山市民総合センター・飯山北コミュニティセンター・飯山総合保健福祉センター・飯山図書館・飯山総合学習センター・飯山地域子育て支援センター・飯山北第一保育所・飯山こども園・飯山北小学校・飯山中学校・飯山学校給食センター・中央学校給食センター・飯山総合運動公園・同体育館・飯山浄水場等があり、インフラ整備では一部公共下水道や農業集落排水設備が整備されている。

(6) コミュニティの構成団体

コミュニティ組織図のとおり

(7) 文化財

有形文化財

神社

坂元神社（祭神鷲住王）：山の越・亀山神社（祭神息長帯比賣尊）：久米氏・日吉神社（祭神大物主神）：下川原・下坂神社（祭神大気都比賣神）：岸ノ上・須賀神社、九頭龍神社（祭神須佐之男命）：岸ノ上・呉織神社（祭神天万栲幡千千比賣命）：楠見東・三谷神社（祭神神櫛王）：三谷中・王子神社（祭神大直日神）：袖村・一王子神社（祭神秋津根王）：北岡・荒神社（祭神大国御魂神）：高柳・湯殿神社（祭神木花佐久屋比賣神）：上真時・楠神社（祭神能野久須毘命）：坊・池ノ神社（祭神弥都波能賣神）：楠見東・喜田荒神社（祭神賣食命）：三の池・金宮神社（祭神天香山命）：青石・九頭龍神社（祭神須佐之男命）：三谷東

寺院

西光寺（本尊阿弥陀如来）：高柳・玄照寺（本尊阿弥陀如来）：楠見東・三谷寺（本尊十一面観音）：三谷中・極楽寺（本尊三尊阿弥陀如来）：久保・正光寺（本尊阿弥陀如来）：青石・安楽寺（本尊不動明王）：三谷中

古墳

弥栄神社古墳群、地獄谷古墳、三の池古墳（薬師山古墳）、城山古墳群（運動公園）
三の池西古墳、割古1、2号古墳、久保大塚北古墳、久保大（王）塚、お四国池西古墳群

遺跡

岸の上遺跡、東坂元三の池遺跡、東坂元秋常遺跡

庶民信仰

三谷寺ミニ三十三観音霊場めぐり、
三の池古墳ミニ八十八箇所めぐり

石造物

喜田荒神石造層塔2基、下坂塔（真時）層塔
飯野山山頂 石造層塔、極楽寺 複製石幢、八方荒神 複製石幢、山の越のみひ

仏像

三谷寺奥の院薬師如来像、三の池薬師如来像、久米氏釈迦堂の釈迦如来坐像

天然記念物

三谷寺（モミの木）・王子神社（センダン）・下坂神社（クスノキ）

無形民俗文化財

坂本念仏踊り

芸能

獅子組（三谷獅子組・久米氏獅子組・日吉獅子組・楠見獅子組・西坂元獅子組・高柳獅子組）

久保やっこ連・下坂やっこ連

(8) 自然景観

飯野山は讃岐富士と呼ばれ、南面に飯野山登山口があり、春には桜と桃の花の共演が見られ、最近では登山愛好家が増加してきている。地域の中央には大東川が流れ、讃岐富士から見渡すと田園地帯とベッドタウンがうまく調和したのどかな風景が広がっている。

(9) 年中行事

- ◆正月の準備 餅搗き、大晦日
- ◆正月 元旦、初夢、初売り（1月2日）、なぬか日（1月7日）、かいつり（1月14日）、とんどの日（1月15日）、藪入り正月と盆の16日、42・33の厄払い、正月札
- ◆春の行事 たるづいたち、節分、ひな祭り、百百手祭り、社日、お彼岸、水口祭、端午の節句
- ◆夏の行事 さんばい・田休み、大祓、虫送り、半夏生、17夜、七夕節句、土用・丑の日、雨乞い
- ◆盆の行事 お盆、百万遍の数珠くり、盆踊り、お施餓鬼と地藏盆、灯籠流し
- ◆秋の行事 うま節句、秋の大祭、おかいれ、にわあげ、いのこ
- ◆冬の行事 報恩講、冬至、お歳暮



亀山神社



三谷寺



獅子舞



坂本念仏踊り

第2章 まちづくりの基本構想

- (1) 将来像 人と自然が調和した住みよいまち
- (2) シンボルテーマ はんざん桃源郷の里
- (3) まちづくりの基本的な考え方

まちづくりの目標は、すべての住民が自らの意思に基づいて幸せに暮らせる社会の実現にあります。人々が幸せであるためには、まず心身の健康が大前提となり、その上に経済的・物質的な豊かさ、精神的な充足と安らぎが必要です。そのためには、地域のすべての住民が健康で心うるおう生活を営むことができる生活環境整備が必要となります。

これまで、行政・地域団体等主導で進められてきたまちづくりの現状と課題を踏まえ、本コミュニティとして今後5ヶ年間に取り組むことのできる目標を次のように考えています。

- (4) まちづくりの目標

自然と調和のとれたまちづくり

私たちのまちの生活基盤づくりは、まだ完備された状況ではないので、継続中の土砂災害危険地域、ため池、道路・河川整備、土地利用の見直し、情報通信網の整備、自然と調和のとれた美しい景観づくりなど、住民の意見を集約しながら関係機関への意見・要望活動に取り組みます。

健やかに暮らせるまちづくり

安全・安心に健康で暮らせる質の高い生活環境の創出に力を入れるとともに、住民の視線に立った利便性の向上、サービスの充実等が大切です。あらゆる人間生活を良好に営むことのできる自然環境の保全整備、生活や産業の源である水環境整備、自然への負荷の少ない生活環境整備、住民の生命・財産を守る防災・防犯・交通安全・救急体制の整備などに取り組みます。

心豊かなひとを育むまちづくり

超高齢化社会の到来による自由時間の増大、生活様式や時代の急激な変化の中において、みんなが心豊かで時代に見合った生活を送るためには人と人との交流や生涯学習機会の提供、心身の健康づくりの場が大切です。

“いつでも、どこでも、誰でも”時代に合った学びや健康づくりのできる環境づくりに取り組みます。

みんなで助け合うまちづくり

すべての住民が自らの意思に基づいて幸福に暮らせる社会づくりのためには、お互いが共助の精神をはぐくむことが重要です。高齢者世帯や子どもたちの安全が危惧されています。地域でお年寄りや子ども達を見守り、安心・安全に暮らせる思いやりに満ちた地域づくりに取り組みます。

みんなが参加するまちづくり

幸福な暮らしが送れる社会を実現するためには、これまでのように全て行政任せでは問題解決にはなりません。「住民自らが行うこと」「共に助け合いながら行うこと」「行政の行うこと」をそれぞれが役割分担し、自分たちのまちづくりに積極的に参加する意識の啓発と実践活動ができるような環境づくりに向けて、コミュニティが住民みなさんの身近な存在になるように努めます。



第3章 『はんざん桃源郷の里』まちづくり計画

(1) 現状と課題

本地域は、旧飯山町の総合計画にそって、「緑と住まいが奏でるのびやかなまち」として各種事業が進められてきた経過があり、ハード面においては、圃場整備、道路整備、公共施設整備、上下水道整備等がほぼ整備されています。今後の大型事業として、大東川整備、国道438号線全面開通が順次進められていますが、住民の安全・安心の確保のためには早期完成が望まれます。

国道438号線の片側開通により、大型スーパーが進出し、周辺には住宅団地の建設も進められており、今後、周辺住民の往来が激しくなり子どもや高齢者等の社会的弱者の交通安全を始め安全で安心、平穏な生活を守る為の取り組みが必要となっています。

地域内には、幼保連携型認定こども園「飯山こども園」、保育所、子育て支援センターがあり、待機児童もなく保育環境に恵まれています。医療保健面では、各種医療機関があり充実しています。文教施設面では「飯山こども園」、小学校、中学校があります。また、市内中学校群で最初に「飯山中学校区地域学校協働本部」を立上げ、学校と地域が連携して地域の子どもたちの支援を行っています。(平成29年度に文部科学大臣表彰を受賞。)小・中学校は、すでに児童増減対策事業や耐震補強工事が完成しています。公共施設では飯山市民総合センターや本コミュニティセンター、飯山図書館及び飯山総合学習センター、飯山総合保健福祉センター、飯山総合運動公園・同体育館等があり、地域住民の生活環境は良好と考えられます。今後はこれらの施設をいかに有効活用・利用していくかが課題となっています。

丸亀市が重要課題として進めている安全・安心の面では今後、予想される南海トラフ巨大地震等の発生の備えとして、土砂災害地域の整備や避難箇所の整備はもとより、災害発生時における避難指示、誘導方法を確立するとともに、住民に対する「自らの命は自ら守る」意識啓発事業が必要となっています。

また、高度経済成長期から進行してきた核家族化・少子化・IT・AIの急速な普及により生活様式が大きく変化し、地域団体の人間関係が希薄化しています。一方、高齢者の急増や自然災害の発生が予測されることから今後は地域におけるお互いの助け合い事業が必要となっています。超高齢化時代を誰もが生きがいを持ち、健康で心豊かな人生を送るために必要な生涯学習の推進については“いつでも、どこでも、誰でも”学習に取り組めるよう飯山総合学習センター、飯山北コミュニティセンター、飯山図書館等などが完備されており、各種講座や教室、生涯学習クラブ活動が行われています。住民の学習意欲を今後どのように高めていくかが課題となっています。

異常な自然現象による地震・豪雨・噴火・台風・地球温暖化問題等生命・財産にかかる課題については、今後、地域住民が一体となって取り組む必要があります。

(2) まちづくりの方向性

飯山北地区の将来像「人と自然が調和した住みよいまち」を目ざして、次の5つの目標を設定する。

- 自然と調和のとれたまちづくり
- 健やかに暮らせるまちづくり
- 心豊かなひとを育むまちづくり
- みんなで助け合うまちづくり
- みんなが参加するまちづくり

(3) 計画期間

本計画の有効期間は、平成31年度から平成36年度までの5ケ年間とする。

(4) 計画の見直し

本計画は、毎年度末の各部会及び総会において見直し、修正を加えてより良いものとする。

(5) まちづくりの方向性を実現するための事業

自然と調和のとれたまちづくり	
基本方針	土地利用計画に対するパブリックコメントの利用により美しい自然環境と都市機能の両立した生活環境整備を関係機関に要望します。 幹線道路整備、河川改修、土砂災害地域の整備、緑地保全や情報網の整備、美しい景観づくりなどに取り組みます。
(施策の概要) 地域内インフラ整備事業 地域内環境美化事業 河川改修事業 生活道路改修事業 ため池整備事業 土砂災害危険地域整備事業	
(活動内容) 国道 438 号線全面開通要望 大東川改修工事早期完成要望 各種行政施策計画パブリックコメント検討委員会の開催 地区内インフラ整備改修要望 土砂災害危険地域整備工事 自治会内一斉清掃 季節の花づくり運動 飯野山登山道清掃ボランティア活動 水辺の楽校清掃ボランティア活動 大東川の清掃ボランティア活動	

健やかに暮らせるまちづくり	
基本方針	安全・安心に健康で暮らせる質の高い生活環境の創出に力を入れるとともに、住民の視線にたった利便性の向上、サービスの充実等が大切です。あらゆる人間生活を良好に営むことのできる自然環境の保全環境整備、生活の源である水環境整備、環境負荷の少ない生活環境整備、住民の生命・財産を守る防災・救急体制の整備などに取り組みます。
<p>(施策の概要)</p> <p>地域保健推進事業 食の安全教育推進事業 生活環境保全事業 環境意識啓発事業 地域内危険個所調査研究事業 防災意識啓発事業 非常時避難所運営事業</p> <p>(活動内容)</p> <p>保健福祉研修会 食と健康講演会 男性料理教室 ぼかし作りの推進 マイ買い物袋推進運動 マイ箸推進運動 環境講演会の開催 防災マップの作成 避難所備品整備事業 防災資機材の整備 防災作品の募集 防災展示・研修会・自治会防災出前講座の開催 地域防災訓練 婦人防火クラブ活動 家財防止器具取り付け普及事業 保・こ・小・中連携避難訓練</p>	

心豊かなひとを育むまちづくり	
基本方針	<p>高齢化社会の到来による自由時間の増大、生活様式や時代の急激な変化の中において、みんなが心豊かで時代性に見合った生活を送るためには人と人との交流機会や生涯学習機会の提供、心身の健康づくりの場が大切です。</p> <p>いつでもどこでも誰でも学びや健康づくりのできる環境づくりに取り組めます。</p>
<p>(施策の概要)</p> <p>健康づくり推進事業 競技力向上事業 地域内ふれあい文化事業 文化財保護事業 伝統文化継承事業 生涯学習推進事業 文化意識啓発事業</p> <p>(活動内容)</p> <p>運動の習慣化の取り組み 健康ウォーク 地域全体にウォーキングコースの設定 飯山北地区体育祭（親子ふれあい競技を含む） 運動と健康講座 はんざん桃源郷まつり 国際文化交流事業 地区獅子舞い・坂本念仏踊り・浦安の舞（伝統文化の保存） 各種生涯学習講座の推進 生涯学習クラブ活動の推進 生き生き講座「はんざん桃源郷学習講座」の開催 人権研修会・男女共同参画研修会 健康カレンダーの作成 健康体操・各種スポーツ教室の開催 文化財県内・外研修会 桃喰うまつり</p>	

みんなで助け合うまちづくり	
基本方針	すべての住人が自らの意思に基づいて幸福に暮らせる社会づくりのためには、お互いが共助の精神を育むことが必要です。高齢者世帯や子どもの安全が脅かされないように地域でお年寄りや子ども達を守り、安心・安全に暮らせる思いやりに満ちた地域づくりに取り組みます。
<p>(施策の概要)</p> <p>高齢者生きがい対策事業 子ども・青少年安全対策事業 子ども自然体験事業 子どもボランティア活動支援事業 各種ボランティア活動支援事業 小地域福祉活動事業</p> <p>(活動内容)</p> <p>各種福祉関係団体連携事業 「かがやきくらぶ桃の里」の運営 一人暮らしふれあいの集い開催 高齢者見守り活動 飯山北地区敬老会 チャリティーバザーの開催 ひとり暮らし世帯の調査 みんなで子どもを守る地域活動 親子交流ゲーム大会 児童伝承遊び キッズセーフティマップの活用・通学路点検・防犯青色パトロール 高齢者助け合い事業 小・中あいさつ運動 交通安全教室・キャンペーンの開催 わんぱく楽校の開催 ネイチャークラフト教室の開催 学校支援ボランティア活動事業 放課後子どもの居場所づくり事業</p>	

みんなが参加するまちづくり	
基本方針	<p>幸福な暮らしが送れる社会を実現するためには、これまでのように全て行政任せでは問題解決にはなりません。自分で行うこと・共に助け合いながら行うこと・行政の行うことをそれぞれが役割分担し、自分たちの町づくりに参加する意識の啓発と実践活動ができるよう取り組みます。</p>
<p>(施策の概要)</p> <p>コミュニティ意識啓発事業 地域生活課題研究事業 地域内情報の発信事業</p> <p>(活動内容)</p> <p>飯山北コミュニティだより 地域生活課題検討委員会の設置・検討 「はんざん桃源郷の里」まちづくり計画の見直し 飯山北コミュニティホームページの充実 自治会加入促進運動 自治会加入啓発事業 飯山北コミュニティセンターパンフレット作成 コミュニティ・地域活動啓発イベント事業 地区内保育・教育機関連携事業</p>	

飯山北地区コミュニティ推進協議会

総会

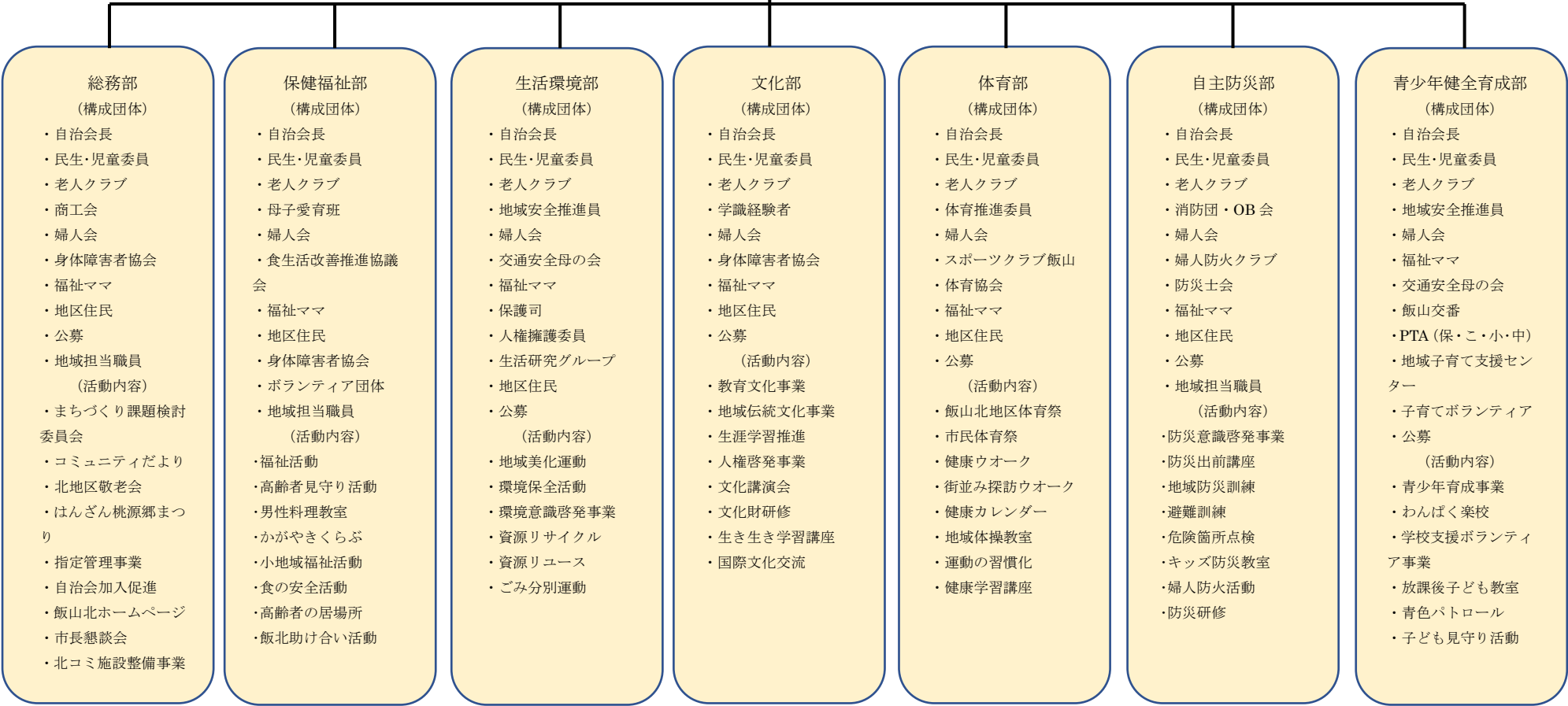
推進協議会役員会
(各種団体代表・連合自治会代表)

顧問・役員会

部会

生活課題検討委員会

広報委員会



第三次まちづくり計画策定委員

役 職	氏 名	所 属	備 考
会 長	三好 守	コミュニティ会長	
副会長	原田伸二	コミュニティ副会長	総務部
副会長	杉林利夫	コミュニティ副会長	体育部・広報委員会
書 記	三谷英子	コミュニティ副会長	ももちゃんくらぶ
委 員	吉井精一	コミュニティ監査	
委 員	井上美智子	コミュニティ監査	生活環境部
委 員	大林浅吉	コミュニティ顧問	
委 員	小林文雄	コミュニティ顧問	
委 員	赤熊一弘	コミュニティ顧問	
委 員	上田 久	コミュニティ顧問	
委 員	近石清一郎	コミュニティ副会長	青少年健全育成部
委 員	川田 洋	コミュニティ副会長	文化部・げんき会
委 員	吉井正人	保健福祉部会長	
委 員	三谷孝治	自主防災部会長	
委 員	狭間勝美	民生・児童委員	
委 員	徳丸 築	学識経験者	広報委員会
委 員	青井 静	学識経験者	学校支援
委 員	渡部小恵子	学識経験者	
委 員	高木和弘	地域担当職員	市兼務職員
委 員	稲田耕平	地域担当職員	市兼務職員
委 員	平間千鶴	地域担当職員	市兼務職員
委 員	近藤咲智子	地域担当職員	市兼務職員
事務局長	小林弘明		
事務局	小林裕子		
事務局	徳井恵美子		



平成 31 年 4 月 1 日 発行
 発 行 飯山北地区コミュニティ推進協議会
 丸亀市飯山町川原 1112-5
 〒762-0082 TEL(0877)98-6595
 編 集 第 3 次まちづくり計画策定委員会
 印 刷 飯山北地区コミュニティ推進協議会